

報道関係者各位

2013年11月1日
株式会社新昭和
ウィザースホーム

新昭和・ウィザースホームによるツーバイフォー・フルパネル工法 直営フルパネル工場本格稼働

ツーバイフォー注文住宅ブランド「ウィザースホーム」をプロデュースしている株式会社新昭和(本社:千葉県君津市、代表取締役社長:松田 芳彦)では、千葉県袖ヶ浦市内に直営の第2工場を設け、この秋よりツーバイフォー・フルパネルの生産を本格稼働いたします。

ツーバイフォー・フルパネルとは、ツーバイ材による枠組みに構造用合板を打ちつけた、いわゆる「壁パネル」に、壁内部の電気配線を行い、断熱材を充填し、石膏ボードの取付けまでを施した状態の「高付加価値壁パネル」であり、施工現場で組み上げるだけで、一気に内装下地まで工事を進めることが可能になり、工期の短縮が図られることとなります。

高い気密断熱性で快適な暮らしをお届けしているウィザースホームでは、これまでも吹付け施工のノンフロン硬質ウレタンフォームを採用しておりますが、当該フルパネル工法の住まいも変わらぬ品質をお届けするために同製品を使用しています。吹付けた直後におよそ70~80倍にも膨れ上がる発泡性の高い断熱材は、壁パネルの厚み以上に膨れ上がるため、オートメーションで壁パネルの厚みまで切り落とす装置をオリジナル開発(特許出願申請中)するなど、最新の設備を有したフルパネル工場です。

直営工場で生産するツーバイフォー・フルパネルは現場施工のように、天候などに左右されることなく安定した品質を確保できるとともに、現場での施工精度の向上が図られ、より安全で安心な高品質の住まいとなります。また、現場における部材のカットや加工がほとんどないため、現場から出る廃棄物を大幅に削減できるなど、環境への負荷が少ない住まいづくりにも寄与しています。

直営フルパネル工場規模は、工場棟が2,592㎡、ストックヤードが1,908㎡。月間40棟相当分のフルパネルの生産予定としています。将来的にはさらに高付加価値を高め、開口部のサッシの取付けまでを行う予定としています。

また、弊社ではあらかじめ工場内にて生産されたコンクリート製基礎「PC(プレキャストコンクリート)基礎」や、外壁下地にタイルを貼った「プレセットタイル外壁」の工場生産になどにより、さらなる工期短縮を図るとともに、現場での施工精度を高め、気象状況の影響を受けにくい安定した品質の住まいづくりを目指しています。

